

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ブロッコリー

コード番号 2706 URL <http://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 知治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-5372-6322

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	4,987	64.5	1,545	183.3	1,545	183.9	1,402	151.7
25年2月期第3四半期	3,030	△34.6	545	△10.6	544	△9.7	556	18.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	42.83	42.83
25年2月期第3四半期	17.03	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	4,064	73.9	3,003	66.8		
25年2月期	2,687		1,795			

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 3,003百万円 25年2月期 1,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年2月期における配当予想の詳細につきましては、本日付で公表いたしました「業績予想及び配当予定の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	46.4	1,800	115.7	1,800	115.9	1,650	88.0	50.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料]4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期3Q	32,738,211 株	25年2月期	32,726,211 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年2月期3Q	694 株	25年2月期	694 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	32,734,492 株	25年2月期3Q	32,712,526 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、「アベノミクス」による経済対策や金融政策の効果が表れ、企業収益が改善傾向に向かい、個人消費が持ち直すなど景気回復の兆しが見られているものの、世界経済の下振れ懸念が依然として残るなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、引き続き底堅い市場を維持しておりますが、コンテンツ関連は、スマートフォン・タブレット端末の充実も重なり、国内ソーシャルゲーム・モバイルコンテンツ市場が依然として拡大基調にあります。家庭用ゲーム市場につきましては、海外で先行して発売されている新型ハード機の動向が好調であることで、国内の縮小基調の市況にも変化が期待され、企業間競争はますます激化しております。

当社は、かかる経営環境下において、収益力の更なる向上の実現に向けて、①リアルグッズの拡大 ②『うたの☆プリンスさまっ♪』の”ムーブメント化”への推進 ③カードゲーム『Z/X(ゼクス)』の拡大 ④マーケティングの一層の強化 ⑤従業員のモチベーション向上と、緊急事態におけるBCP(ビジネス・コンティニューティ・プラン)の強化を今期の課題とし、「自社内にて開発するコンテンツのヒット創出及びハイリターンへの追求」、「リアルグッズ製作での確実な収益確保」の2つを両立する事業戦略(ツインエンジン化)を推進してまいりました。

このような状況下、当第3四半期累計期間の売上高は4,987百万円(前年同期比164.5%)、売上総利益率は49.5%(前年同期比7.1ポイントアップ)、売上総利益は2,468百万円(前年同期比192.3%)となりました。

この主な要因としましては、以下のとおりとなります。

ゲーム部門につきましては、平成25年8月に出荷を開始いたしました『うたの☆プリンスさまっ♪MUSIC2』が、9月19日売り号の週刊ファミ通売上ランキング第1位を獲得するなど、大変好調であり、同年2月より出荷を開始しておりました『うたの☆プリンスさまっ♪All Star』をはじめ、関連作品のバックオーダーも好調でした。また、新規タイトルとして9月に『明治東京恋伽』を、10月に『神々の悪戯』を発売し、いずれも堅調に推移いたしました。CD部門につきましては、当社ゲームソフト『うたの☆プリンスさまっ♪』を原作としたTVアニメ第2期『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVE2000%』の平成25年4月からの放映に伴い、5月から6月にかけてリリースいたしました『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVE2000%アイドルソング』シリーズ計7作が全作品週間オリコンランキングTOP10入りを達成する大変好調な売上であり、ゲーム・CDの両部門ともに期初計画を上回ることができました。カードゲーム部門につきましては、平成24年7月から発売し、平成25年10月に第6弾『五神竜の巫女』を発売いたしましたトレーディングカードゲーム『Zillions of enemy X(ジリオンズ オブ エネミー エックス)：略称Z/X(ゼクス)』シリーズの売上が好調であり、期初計画を大幅に上回りました。また、グッズ部門につきましても、当社女性向けコンテンツ『うたの☆プリンスさまっ♪』関連グッズが好調であり、他社男性向けコンテンツのヒットにも恵まれ、ライセンスを受けたグッズも好調でした。

販売費及び一般管理費につきましては、販売手数料や賞与引当金繰入額等の増加等により、923百万円(前年同期比125.0%)となりました。

この結果、営業利益は1,545百万円(前年同期比283.3%)、経常利益は1,545百万円(前年同期比283.9%)、四半期純利益は1,402百万円(前年同期比251.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は3,784百万円で、前事業年度末に比べ1,341百万円増加しております。現金及び預金の増加1,280百万円、売掛金の減少4百万円、商品及び製品の増加57百万円、仕掛品の増加14百万円が主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は279百万円で、前事業年度末に比べ35百万円増加しております。無形固定資産の増加21百万円、投資その他の資産の増加15百万円が主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,016百万円で、前事業年度末に比べ272百万円増加しております。未払金の減少68百万円、未払法人税等の増加142百万円、返品調整引当金の増加8百万円、賞与引当金の増加102百万円、役員賞与引当金の増加10百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は44百万円で、前事業年度末に比べ103百万円減少しております。長期未払金の減少100百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は3,003百万円で、前事業年度末に比べ1,207百万円増加しております。これは、四半期純利益1,402百万円が計上された一方で、配当金の支払196百万円が行われたことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期におきましては、引き続き更なる事業及び収益の拡大を図る具体的戦略として、第一に、安定した売上高と売上総利益率が見込める自社リアルグッズ製品を強固な収益基盤とすべく、綿密なマーケット検証及び分析、顧客セグメント別の戦略策定と実行、新アイテムの開発強化、ユーザーの共感が得られる価値あるモノ作り力の向上を図ることにより収益性の拡大を図ってまいります。

ゲームソフトにつきましては、『うたの☆プリンスさまっ♪』の”ムーブメント化”に向けてうたプリの持つ魅力を更にスケールアップさせ、ユーザーと共有することで、コンテンツ価値最大化”ムーブメント化”を目指してまいります。

カードゲームにつきましては、『Zillions of enemy X (ジリオonz オブ エネミー エックス) : 略称Z/X (ゼクス)』を新たな収益基盤としていく為に、本日より放送のTVアニメ「Z/X IGNITION (ゼクス イグニッション)」を軸に更なるユーザー数拡大を図ってまいります。

第二に、経費につきましても選択と集中を図り、コスト管理強化に取り組んでまいります。

以上の施策等により、通期業績予想及び配当予定につきましては、サマリー情報記載のと通りの表示といたします。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しておりますが、業績等につきましては経営環境の変化やその他様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、その場合には開示が可能となった時点で速やかに業績予想の修正を公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,553,799	2,834,443
売掛金	600,999	596,847
商品及び製品	50,684	108,332
仕掛品	40,096	55,088
原材料及び貯蔵品	1,839	2,122
その他	196,193	187,888
貸倒引当金	△571	—
流動資産合計	2,443,041	3,784,721
固定資産		
有形固定資産	32,835	30,485
無形固定資産	57,658	79,334
投資その他の資産		
その他	156,424	172,661
貸倒引当金	△2,012	△2,488
投資その他の資産合計	154,412	170,172
固定資産合計	244,906	279,992
資産合計	2,687,948	4,064,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	256,461	255,802
未払金	216,375	148,143
未払法人税等	7,882	150,760
返品調整引当金	37,152	45,816
賞与引当金	21,749	124,302
役員賞与引当金	36,000	46,256
その他	169,148	245,824
流動負債合計	744,769	1,016,907
固定負債		
その他	147,957	44,636
固定負債合計	147,957	44,636
負債合計	892,727	1,061,544

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,923	331,775
資本剰余金	36,275	37,127
利益剰余金	1,427,937	2,633,595
自己株式	△81	△81
株主資本合計	1,795,054	3,002,415
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	166	753
評価・換算差額等合計	166	753
純資産合計	1,795,220	3,003,169
負債純資産合計	2,687,948	4,064,714

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	3,030,998	4,987,024
売上原価	1,747,074	2,518,060
売上総利益	1,283,924	2,468,963
販売費及び一般管理費	738,425	923,301
営業利益	545,499	1,545,662
営業外収益		
受取利息及び配当金	135	871
その他	300	325
営業外収益合計	435	1,196
営業外費用		
支払利息	1,552	1,595
その他	67	208
営業外費用合計	1,620	1,803
経常利益	544,314	1,545,054
特別利益		
事業譲渡損失引当金戻入額	24,122	—
特別利益合計	24,122	—
特別損失		
固定資産除却損	1,530	14
特別損失合計	1,530	14
税引前四半期純利益	566,906	1,545,040
法人税等	9,972	143,030
四半期純利益	556,933	1,402,010

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。